



# 親子でなにわ新発見!

おとなと子どもがともに楽しめる講座やイベント、施設を体験レポートします。

## おでかけのためのおでかけ? …の巻



### 春になったらどこへおでかけしようか?

計画の前に…おすすめの場所があります。

目的地だけではなく**移動中もまるごと楽しみたい!**  
そんなファミリーへ。



今回おじゃましたのは、『交通科学博物館』です。ここは、鉄道を中心とした交通をテーマにした博物館です。鉄道が日本にできた明治初期から未来までの交通全般について知ることができます。最初は「ミュージアム探検ツアー」に参加してみることに。屋外の「プラットフォーム・プラザ」に展示されている、実際に運行していた鉄道車両の中に入ることができるツアーです。歴史を刻んできた貴重な車両に乗って、触れることもできるのでおすすめです。蒸気機関車の時代には煤などを防ぐことや、揺れに対して工夫することで、客車をより快適な環境にしようとしていました。この日のツアー参加者は世代も性別も様々でしたがその工夫には「へ〜!」と感心する声が一斉にあがりました。また、カタカナと数字を組み合わせている車両の記号にはちゃんと意味があることがわかった。「へ〜!!」の声はさらに大きくなります。ツアー終了は「ミニSL シュッポ君」の線路の前。通り過ぎるSLの乗客はみんな笑顔で手を振っています。ここからは屋内へ。「鉄道模型パノラマ室」は一番にみたいコーナー。模型列車はもちろん、街並みも迫力満点。自分が空から街を見下ろしているような不思議な感覚になります。そしていつも行列が絶えないのは運転士気分が味わえる「電車シミュレータ」です。本物の電車と同じ装置を使っていて、前方のスクリーンには窓から見える景色が映し出されています。発進と同時に景色も移って行くのでぜひ挑戦してみましょう。

(注) イベントは開催日に注意してください。詳しくは、HP、チラシなどで確認を。

おでかけは、目的地だけでなく、移動方法にもこだわってみると楽しさが倍増するはず。予定にない寄り道には「なにわ新発見」があるかもしれません。そんな「楽しさ倍増計画」のためにもここで準備を。みどころが多いのですが、休憩スペースが充実しているのでゆっくりまわってください。電車って、見ているとおでかけしたくなってくるのです。

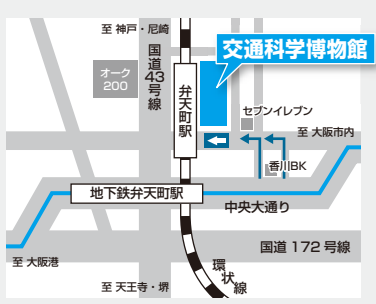
写真・文 梅木智子



### 交通科学博物館

交通科学博物館 検索

- 場所 〒552-0001 港区波除3-11-10
- 電話 6581-5771
- 開館 10:00~17:30 (入館は17:00まで)
- 休館 月曜日(祝日の場合は翌日)
- 費用 大人(高校生以上)400円、小人(4歳以上)100円
- 交通 JR・地下鉄「弁天町」



### おおさか歴史探訪 ④

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

## 凌雲閣 ー明治のアミューズメントパークー

3月中旬になると気候も良くなり、行楽にでも出かけようかという気になってきます。今回は大阪にあった明治期の遊園地についてお話します。

明治時代も中頃になると、庶民の生活にも、文明開化の気風が感じられるようになりました。明治21年7月、今宮村(現在の浪速区)に、「眺望閣」という5階建ての建築が建てられました。大阪で初めての高層建築で、市街地はもちろん淡路島から播磨あたりまで見渡せたそうです。建物の中には菓子、洋酒店などがあり、茶店などもあったため、たちまち名物になったといえます。翌22年3月には、北野に9階建ての遊覧所「凌雲閣」が建てられました。この建物は地上2階が1辺約26メートルの正方形で、その上は八角形の6層が続き、さらにその上に時計台をのせるという奇抜なかたちで、総高36メートル余りあったといえます。約1万3千平方メートルの敷地内には、池や築山をつくりボートを浮かべ、温泉場、舞踏台、自転車競走場、弓道場などを設け、また料理屋や旅館もありました。現代風に言うところ、アミューズメントパークといったところです。両者は「北の九階、南の五階」と俗称され、市民に親しまれました。当時の宣伝文句に、「新鮮空気を吸えば、身の健康を補えり」とあります。明治の中頃、すでに都心部では空気汚染が問題視されるようになっていたようです。

凌雲閣のあった場所はJR大阪駅の北東部で、もと梅田東小学校があったあたりです。史跡顕彰碑が建てられています。(大阪市教育委員会 文化財保護担当)

